

町財政の現状と今後の改善策は



柳沢 浩一



町長

経常収支比率（※）は改善したが、今後も事業の見直しを進める

質問

町長は就任以来一貫して、「玉村町の財政は危機的な状況にあり、このままでは将来の破綻も心配される」との懸念を表明してきたが、来年度を見据えていかに改善するか。

町長 平成27年度決算では経常収支比率は92.8%、前年度比で4ポイント改善している。

財政力指数（※）は前年度と同様の0.76であった。

質問

公債費負担比率（※）は前年度を0.6ポイント下回る10.1%と低率を維持しており、改善の方向にある。

また、今年度は事務事業の見直しを進め、来年度予算に反映させていく。

わずかではあるが、改善した要因は。

総務課長 消費税のアップや、地方創生にかかわる政策の一環として、交付税が増加したことによる。

3学期制の実施に向けて行動していくのか

質問

町長は2学期制から3学期制への転換を目指すことを約束・表明してきたが、今後実現に向けて行動をしていくのか。

町長 私は選挙における重点政策の一つとして「2学期制から3学期制への移行」を挙げてきた。2学期制は県内では当町のみ



きれいになった中央小学校

質問

で、保護者からの要望もあるため、検討したいと考えている。しかし、この課題は教育委員会の所管である。導入10年を踏まえ、今後は学期制検討委員会を立ち上げ審議していく。

芝根・上陽の旧農協支店取得の交渉経過は

芝根・上陽の各住民から「旧農協支店を購入して、地域の交流の拠点としたい」との請願が出されたが、その後の経過は。

町長 各地域の請願書を受け、JA佐波伊勢崎も、条件面等の折り合いがつけば、売却も検討するとしている。

町も両支店が、地域に根差して営業されてきたことを踏まえ、実現に向けて検討していきたい。

※【経常収支比率・財政力指数・公債費負担比率とは】
地方公共団体が健全な財政運営を行う上で必要となる財政状況を把握するための指標で、ほかの地方公共団体との比較をすることができる。

小さな花火大会を東部や南部地区でも開催できないか



備前島久仁子



町長

場所の決定や臨時駐車場の確保、警備等の面からも困難

質問

たまむら花火大会が上陽地区に移り2年目だが、町民の反応はどうか。

町長 おおむね満足していただいていると思うが、打ち上げ場所から遠い地区の方からは残念だと聞いている。課題は打ち上げ地点周辺の路上駐車だが、来年は改善していきたい。

質問

玉村の東部や南部の人がらは、花火の打ち上げ場所が中央から北部へ移り、遠くなってしまい残念だとの声が多い。規模の小さい花火を、東部・南部地区の川井、軍配山、若王

子あたりで上げられないか。

町長 花火打ち上げの安全を考えると、全面的に考えても想定しにくい。

役場周辺の施設を見直す高度利用計画の進捗状況は

建て替えが急がれる障害者福祉センターは、県の補助金がかさず2年越しとなっている。いつになったら始まるのか。ほかにも、教育相談室や通級教室はプレハブ住宅のまま狭いが、増築はいつになるのか。

町長 建物老朽化しているため、大規模改修をしてから指定管理に出したい。

グラウンドの整備、外トイレの改修、ジムのエアコン設置は。

健康福祉課長 グラウンドは管理していく。外トイレは要望があれば利用できるようにしたい。エアコンは経費の問題があり検討が必要。



頭上に迫る美しい花火が人気